

民主クラブ

西野 茂樹・小山 征三
松尾 省勝・岩田 薫・佐々木修司

代表質問

- 1 市政に臨む基本方針と公約
 - (1) 今後4年間の基本政策等について
- 2 市長の政治姿勢
 - (1) IR誘致について
 - (2) 新千歳国際空港駅の大規模改修構想について
 - (3) 駅前再生について
 - (4) 高レベル放射能汚染物の最終処分地選定について
 - (5) 日豪共同訓練について
 - (6) 駒澤大学について

西野 茂樹 議員



◇岩倉市政の基本政策を問う！

今議会の代表質問では、IR誘致の課題やエガオビルの跡地活用、新千歳空港駅からの鉄道乗り入れ問題など今後の苫小牧のまちづくりに関わる43項目について、岩倉市長の姿勢をたどりました。

◇住民意向調査を求め！

特にIR誘致については、市側も住民理解が進んでいないことを認めていることから住民投票若しくは住民意向調査の実施を強く求めました。

岩倉市長は、議会の議決による手法であっても住民理解を得られるとの考えを示しました。今後は、最低でも議員提案による住民意向調査を求めてまいります。

一般質問

- 1 防災対策
 - (1) 危機管理室の体制強化について
 - (2) 指定避難所の運営について
 - (3) 災害時の停電対策について
 - (4) 災害時の情報発信について
- 2 町内会活動
 - (1) 広報とまこまいの配布委託料について
 - (2) 住民組織活動助成交付金について
- 3 地方創生地域コミュニティ活性化支援事業について

小山 征三 議員

<http://www.tomakomai.or.jp/koyama/>



◇停電時、住民の避難路絶たれる

胆振東部地震で発生した大規模停電では、停電が発生するとJR踏切の遮断機が一齐に下りるため津波浸水地域の住民は、踏切を渡り避難することが出来ないことを指摘しました。市側は、重要な課題であり、地域住民に周知するとともに国、道、関係機関と十分に協議するつもりです。

◇町内会の財政支援見直しへ

町内会活動について岩倉市長は「高齢化と人口減少が進む社会情勢の中、住みやすいコミュニティづくりという点から抜本的に変える。町内会は協働のパートナー」とし、助成金など財政支援を2019年度から見直すつもりです。

一般質問

- 1 政治姿勢
 - (1) ラムサール条約について
- 2 学校給食の無償化について
- 3 予防接種について
- 4 高齢者等緊急通報事業について
- 5 採用力・魅力創造支援事業について

佐々木修司 議員



◇北海道が安平川の治水対策として整備する遊水地を含む周辺のエリアは、希少な鳥類が生息していることから、ラムサール条約湿地登録について市の考え方を質しました。岩倉市長は「あらゆる関係機関との調整が必要となってくる結果がどうなるかという問題はありますが、重要なチャレンジテーマだと考えている」と答弁しました。

◇学校給食の無償化について市側は「将来的な財政状況や人口減少・少子化対策の在り方について判断することは現時点では難しく、無償化は考えていない」としましたが、無償化の実施自治体が年々増加していることから調査・研究を行なうことを要望しました。

松尾 省勝 議員



◇厚生委員会では「胆振東部地震」により、平成30年9月議会での委員会審議事項や付議事件の審査が継続審議になって行われたことから、国への要望意見書提出に関する陳情を採択するなど、所管事項10件の審議を行いました。

岩田 薫 議員



◇文教経済委員会では、平成30年度教育委員会点検・評価、給付型奨学金制度の創設、学校給食費の改定、苫小牧市中小企業振興計画、苫小牧市観光振興ビジョンの進捗状況などが報告されました。

また、図書館に係る陳情2件について、趣旨採択を求めましたが、2件とも賛成少数で、不採択となりました。